

みどり幼稚園 自己評価表（%評価）

評価分類	評定	内容
保育の計画性	1 0 0	園の教育理念・教育方針を理解している。
	1 0 0	幼稚園教育要領を理解している。
	1 0 0	教育課程をもとに、保育の計画を立てている。
	1 0 0	指導計画は教育要領、教育課程、幼児の実態などを考慮して作成している。
	1 0 0	指導計画に基づいて、幼児が主的にかかわりたくなるような環境構成をしている。
	1 0 0	自分の保育と計画の評価・反省は、行うようにしている。
保育の在り方、 幼児への対応	1 0 0	園内に危険な個所がないかどうか、危険な遊び方はないかなどを常に観察している。
	1 0 0	個々の幼児の発達の姿や課題について見通しをもって理解できる。
	1 0 0	幼児の年齢や発達、個性、性格、特徴に応じたかかわり方をしている。
	1 0 0	幼児のことについて常に保育者同士で話し合い、クラス、学年をこえて情報を共有している。
教師としての 良識・適正 の資質や能力	1 0 0	専門知識や技能を身に付け、保育者としての誇りと自覚を持った言動を心がけている。
	1 0 0	教職員全員でひとつのチームであることを意識している。
	1 0 0	保育の楽しみ・喜ぶことができる。
	1 0 0	幼児や教育に関する情報をたえずとらえようとしている。
保護者への対応	1 0 0	個々の子どもの様子は直接話をしたり、電話・連絡帳などを使って伝え合っている。
	1 0 0	保護者からの要望等を受け止めて実行する場合は、そのことの教育的な意義付けをはっきりとさせてからにしている。
	1 0 0	守秘義務の遵守
	1 0 0	正しい日本語、ていねいな言葉と敬語を用いて語りかけ、相手の話も落ち着いてしっかいと聞いている。
	1 0 0	要望によっては教職員全体で検討し、共通理解の上で対応している。

地域の自然や社会 との かかわり	100	地域の人々と親しくあいさつや会話を交わしている。
	89	小学校との連携をとっている。(感染拡大防止のため今年度は連携をひかえた)
	47	地域開放や子育て支援のあり方について、教職員全体で話し合っている。
研修と研究	100	研修・研究への意欲がある。
	84	教師としての専門性に関する研修・研究を行っている。
	100	遊具・教材に関する研修・研究を行っている。
	95	園内環境に関する研修・研究を行っている。
	100	自らを高めるための学習を心がけている。

—自己評価を終えて—

- ◆ 自己評価を終えて教師全体の資質としてはハイレベルな水準を保っていると思う。そのことにおごることなく、これからもますます資質を高める努力に努めたい。
- ◆ 保育の計画性は直接、子どもの園生活の中で経験を広げていくための基礎となるので、教育・保育に直接たずさわる職員の研修をより深め、理解につなげていきたい。しかし、感染拡大する中での教員研修はなかなか難しくリモート研修等の方法でしかなく、思うような研修に参加できなかったのが残念であった。
- ◆ 子どもたちにとって園を安心・安全な場として伸び伸びと活動することができたり、友だちとの生活を楽しむことができるよう保育者同士で話し合い、情報の共有に今まで以上努めたい。
- ◆ 園内・園外を通して専門知識や技能を身につけ、教師としての資質向上により努めていきたい。
- ◆ 教職員全体が連携をもち、ひとりひとりの子どもたちにしんしに向き合える集団でいることに努めていきたい。